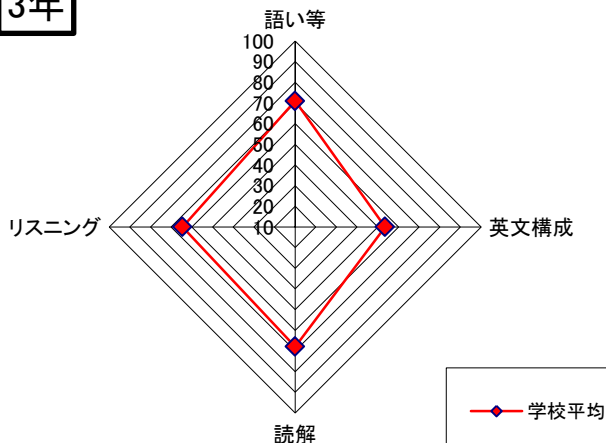


「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 大阪市立西中学校

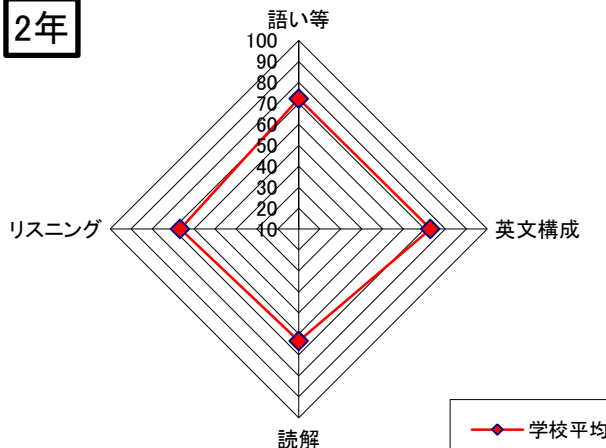
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング	
学校平均	71	53.5	67.9	64.5	(%)
市平均	72.2	51	65.6	66.4	(%)

3年



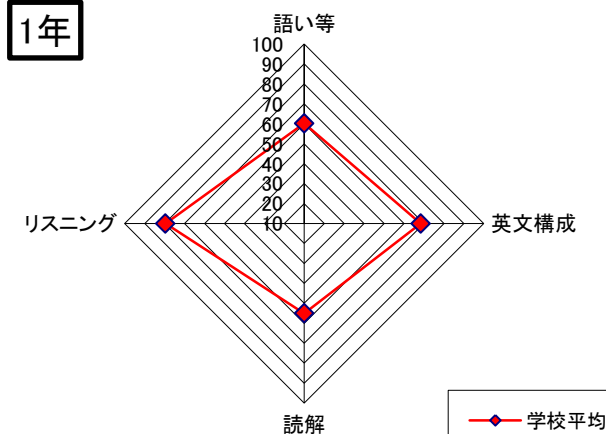
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング	
学校平均	72.2	72.9	63.4	66.6	(%)
市平均	76.8	80	70.7	73.3	(%)

2年



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング	
学校平均	60.2	68.4	55	79.6	(%)
市平均	64.4	73.4	64.1	82.4	(%)

1年



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

4分野中「英文構成」と「読解」の分野で市平均を上回っており長文読解の課題を重点的に行った結果だと思える。また「語い等」、「リスニング」の分野は市平均との差は僅差ではあるが、さらに指導を充実させることが必要である。

《結果をふまえた今後の取組》

「語い」力や「リスニング」力の向上に関しては、C-NETを活用した活動をより多く取り入れたい。全体としては3級以上の判定が出た生徒は20人を超えたのでさらに底上げをしてICT機材を活用し基礎・基本の定着をめざして取り組みたい。

2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

どの分野も市平均を下回った。その結果から「語い」の力と全体の力が比例しているようである。「語い」の力が向上しないと「4技能」は不十分なものになる。「語い」を増やす指導が必要と受け止める。

《結果をふまえた今後の取組》

「語い」が重要とはいえ、文(章)の中で身に着けていかなければならない。特に2年生は「語い」以外に不安がある。すでに実践するよう指導しているが、日本文から英文の表現のトレーニングをしっかりとせたい。「読解」では、文章の前から意味をとる癖や代名詞の確認をこまめにするよう、取り組みたい。

1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

「語い、英文構成」が市平均をやや下回っている。授業で習ったことを定着できていない様子が見える。「リスニング」は僅差である。得意な生徒は多いが、さらなる練習が必要。「読解」は市平均を大幅に下回っている。基礎の定着が不十分な生徒が多く、長文読解力が極めて低いように思われる。

《結果をふまえた今後の取組》

英語の得意な生徒と苦手な生徒の点数差が多きい。苦手な生徒の学習意欲を高めるため、今以上に復習の機会を増やしたい。また、普段から家庭学習の時間をとるように指導したい。